

令和 8 年 6 月 26 日



守山市 記者提供 資料

担当部署 市民協働課
 担当者 福阪・山田
 電話 077-582-1148
 FAX 077-582-6947

守山市さんさんまちサポ助成金事業の採択団体が決定！

本市では、市民団体等が自主的、自発的に取り組むまちづくり活動に対して、その活動に必要な経費の助成を行う「さんさんまちサポ助成金事業」を実施しています。去る 6 月 6 日（土曜）に同助成金事業の「まちづくり応援事業」および「ひとりだち応援事業」への申請があった 14 団体によるプレゼンテーションおよび審査会を開催し、12 団体の採択を決定しましたのでその概要について情報の提供を行います。

1 事業名 令和 8 年度守山市さんさんまちサポ助成金事業

2 制度の概要

* 市民団体等が自主的、自発的に守山市内で取り組むまちづくり活動を募集し、必要性や公益性、有効性等の観点から有識者等による審査委員会での審査を経て、本市が助成金事業の対象に採択した団体に対して、「まちづくり応援事業（上限 150,000 円）」および「ひとりだち応援事業（上限 300,000 円）」に係る活動資金（補助率 10 分の 10）を助成しています。

3 申請状況や採択結果等について

	令和 8 年度	令和 7 年度
申請期間	4 月 13 日から 5 月 10 日まで	4 月 14 日から 5 月 9 日まで
申請件数	まちづくり応援事業：12 団体 ひとりだち応援事業：2 団体	まちづくり応援事業：12 団体 ひとりだち応援事業：1 団体
採択件数	まちづくり応援事業：10 団体 ひとりだち応援事業：2 団体	まちづくり応援事業：9 団体 ひとりだち応援事業：1 団体 ※ひとりだちは採択後交付辞退
予算額	222 万円	222 万円
事業実施対象期間	4 月 1 日から令和 9 年 3 月末まで	4 月 1 日から令和 8 年 3 月末まで

4 今後のスケジュール

- 中間ヒアリング/視察：8 月頃～団体の活動状況に合わせて随時実施
- 成果報告会(まちサポ AWARD)：3 月 30 日（火）実施予定

«添付資料あり»

【情報提供】 守山市さんさんまちサポ助成金事業の採択団体が決定！ <<添付資料>>

	採択事業者名	事業名	交付決定額
まちづくり応援事業：上限 150,000 円			
1	一般社団法人 yourship	放課後たいけん教室	15 万円
	守山市内の小学校等の施設を活用し、地域住民、事業者、企業等と連携して、小学生を主な対象とした体験学習講座を実施し、子どもたちの自己決定機会の創出と非認知能力の育成を図り、「体験格差」の解消に貢献することを目指した活動		
2	こどもの居場所とあそび場 みんなのひみつきち	みんきち“まだまだ続くよ”プロジェクト	15 万円
	子どもたちが自由で主体的な遊びの中で様々なことにチャレンジし、子ども時代の豊かな時間の創出を目的とし、代表自宅の納屋と庭を子どもたちが自由に過ごす居場所として、週 1 回放課後の時間帯に開放し、地域の大人で見守りを行う活動		
3	社会福祉法人慈恵会 ごちゃまぜプロジェクト	福祉施設、ひらいてみたけど次どうする？ ー市民協働でつくる“その先”の場づくりー	11 万円
	地域に開かれた福祉現場の実現を目的に、地域の憩いの場/交流の場となるようなベンチ制作ワークショップを実施し、そのベンチを地域交流ホームや福祉施設の敷地内にある屋外空間に設置し、交流イベント等を実施する活動		
4	エイブラハム林間学校	子どもと高齢者をつなぐ 「レジリエントなコミュニティづくり」事業	15 万円
	防災/防犯に強い「レジリエント(強靱な)地域コミュニティづくり」を目的とし、「地域農園」「夏休みのラジオ体操」「林間学校」など地域の子ども/大人/高齢者など多様な地域住民の絆を強くする活動を多岐に渡り実施		
5	もりやま子育ておなかま会	おなかマルシェ、みんなのひろば、おなかま会	15 万円
	家族だけでがんばる子育てから、周りの人とつながる中で楽しい子育てが当たり前の守山市を目指し、親子がリフレッシュできる体験や、親子・多世代が安心して集える居場所を、複数の子育て支援者たちが協力し、提供する活動		
6	民間非営利団体 IrisSeed	散髪支援事業 行床屋 いっとこーや 移動型駄菓子屋 ヴァイキングの湖	15 万円
	メンバーがそれぞれ家庭環境に問題を抱える当事者だった経験から、ひとり親家庭や生活困窮世帯の子どもたちが安心して地域と繋がる環境づくりを目的とし、本当に必要な支援を、市とも連携し本当に支援が必要な方に届ける活動		
7	特定非営利活動法人 滋賀ものづくりネット	ENGLISH LABO	15 万円
	どんな家庭環境の子どもでも等しくグローバル教育を気軽に受けられる社会の実現を目指し、子どもたちが英語に対して苦手意識を生まないよう、団体の得意分野であるものづくり工作も交えた 1 回 500 円都度払い制の英会話事業を実施		
8	もりやまお化け屋敷 実行委員会	お化け屋敷が世代交流の拠点に	15 万円
	コロナ禍以降、減少しつつある子どもの体験機会および多世代交流の機会の創出を目的とし、地域の様々な大人と子どもたちが協力して夏休み期間に複数回集まり、「お化け屋敷」を 1 から手作りし地域住民に開放する活動		
9	月と魔女のプロジェクト	まいつきたんじょうび	15 万円
	代表が経営する美容室の定休日に開催している「こども食堂」の中で、自己肯定/他者肯定の気持ちや育むことを目的にお誕生日の方や、頑張った事・お祝いしてほしいことがある人を皆で祝い合う「まいつきたんじょうび」という事業を実施		
10	こども応援団	「石田グルメ」湖と大地の恵みに学ぶ 琵琶湖の漁と農体験	15 万円
	地域愛を持ち、地域の活性化を自分事として捉える子ども/若者の増加を目的とし、地域の自然や食、農業などを活用した体験事業を年間通して実施		

ひとりだち応援事業：上限 300,000 円

1	bochibochisloth	子どもの五感を刺激し、親子で楽しむことができるアート活動	30 万円
	共働き家庭・核家族化の増加により減少しつつある、子どもたちが五感を使って体験する機会や、多様な人と関わる機会の創出を目的とした「親子で楽しめるアート活動事業」や「子どもたちが一人で行って自由に過ごせる居場所事業」を実施		
2	おうみ子ども・若者未来のタネプロジェクト	まちのほけんしつ「そら」 ～心と体を整え、学びを育む、みんなの相談室～	30 万円
	全ての子ども・若者が尊重され、健やかに学び育っていける地域社会の実現を目的に、様々な不登校支援を行っており、主に精神科医や保健師など専門職とも連携した思春期相談/健康相談も行える「まちのほけんしつ」という居場所事業を実施		